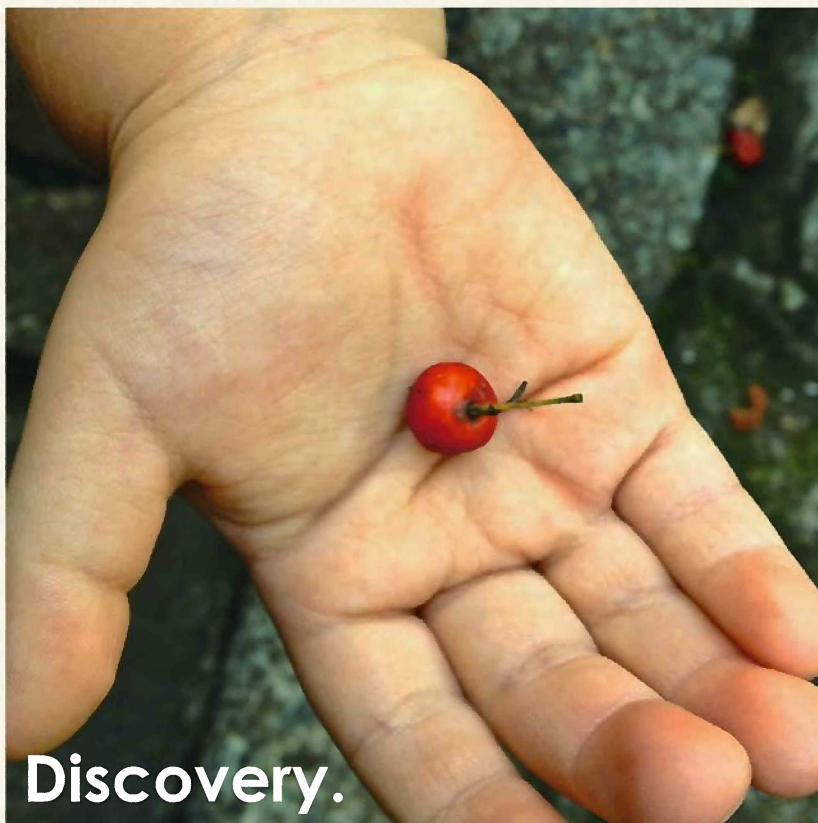


# みいつけた!

福岡県保育協会通信



By mutual confidence and mutual aid,  
Great deeds are done, and great discoveries made;  
相互信頼と相互扶助にて、偉大なる行為はなされ、偉大なる発見がなされる。  
—ギリシアの詩人 ホメロス

第69回 筑後地方保育事業研究大会報告	2
第68回 福岡地方保育事業研究大会報告	3
第58回 京築ブロック保育研究大会報告	4
全国私立保育連盟青年会議オンライン研修の報告	5
認定こども園に移行して	6
公立発信	7
AIと絵本の接点	8
気になる子どもの幼児期のコミュニケーション発達と支援	9
災害と保育の力 —福岡 DWATの発足	10
新園紹介	11
福岡県保育士・保育所支援センター PR	12
コラム・編集後記	13

公益社団法人

福岡県  
保育協会

<https://www.fphk.jp/>

福岡県保育協会 で 検索



小鳩保育園 園長 猿渡 保生

## 【温故知新。今、私たちができること】 大会を開催して、思うこと

令和3年8月27日、第69回筑後地方保育事業研究大会をオンラインで開催致しました。

本来なら令和2年8月に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響で延期となり、2年間の準備が必要になりました。オンラインでの大会開催については、福岡県保育協会の常務理事会と筑後地方理事会で協議の上、決定されました。

担当地域としては、集合型での保育事業研究大会を開催するよう進めていた準備から、オンライン開催へと変更するに当たり、大牟田市保育園連盟の会員もコロナ禍で多人数での委員会や打ち合わせも出来ない状態でした。はじめに、4月に大会会場でありました大牟田市文化会館をキャンセルし、そして、実行委員会を連盟役員で進めていくことで3密をさけ、少数でアクリル板のパーティションを使用し会議を進めていきました。

オンラインでの研修会開催は、すでに県保協事務局が行っていたことから協力を依頼し、県保協事務局とはオンラインでの研修会開催の課題等について数回打ち合わせをしました。また担当の中川課長と大牟田市保育園連盟事務局と連絡を密にとり、準備を進めていきました。

オンラインでの大会を今までの日曜日から平日へとかわり、いくつかの問題点がありました。一番の課題は、保育中の開催になるので多くの職員が研修を受けることができないことでした。

この課題については、筑豊地方保育事業研究大会は、後日YouTube配信を行いました。今回は記念講演講師の中村先生に許可を得て、大会運営支援業務を委託したQT mediaにDVD作成をお願いして会員各園に大会終了後に郵送して研修会を共有してもらうことにしました。

いくつかの課題をクリアしながら、迎えた8月。緊急事態宣言中でしたが、大会開催1週間前にリハールを行い、そして当日を迎えました。司会者は、大牟田市保育士会西川会長に、主催者から筑後地方保育協会中嶋会長、福岡県保育協会万田会長、次期開催地朝倉郡保育協会江藤会長の挨拶。来賓は、福岡県知事代理後藤福祉労働部長にオンラインでご挨拶いただきました。そして、一般表彰者の紹介。二年分の多くの授賞者を紹介しました。

次に記念講演は、オフィスファイン代表の中村早

岐子先生より『あなたが輝くほめ達の魔法の言葉』と題してご講演いただきました。

- ①挨拶は、ほめる始まり。普段無意識にしていることを意識して
- ②ほめ達!の一步、今日からできること
- ③人は大事にしてくれる人のために最大のパフォーマンスを発揮する
- ④心の報酬。成長の実感、貢献、ねぎらい
- ⑤ほめることは価値を発見して伝えること
- ⑥成長し続ける人の共通点 知っているか知らないかではなく、自分ができているかどうか
- ⑦ほめ達!とは「価値発見の達人」
- ⑧ほめると視野が広がる、自分の心が整う
- ⑨自分が言われてうれしい言葉
- ⑩マイナスをプラスへ変換

保育の中でも、職場や家庭でも実践しましょう。ほめ達で人間関係も円滑にしていだければと思います。

大会を終えて、来年度は従来通り集合型で行われるのか、オンラインで行われるのか分かりませんが子どもたちや保育士等職員の安全・安心を考えながら、次期開催地担当協会のみなさんをお願いしたいと思います。

最後に、福岡県保育協会 鶴局長をはじめ事務局の皆さんに全面的なご協力をいただき感謝申し上げます。そして、保育時間中に関わらず多くの筑後地方会員園の皆様へ最後までご視聴いただきましたこと、お礼申し上げます。ありがとうございました。



加布里保育園 園長 古家 嘉康

## 第68回福岡地方保育事業研究大会を終えて

第68回福岡地方保育事業研究大会を終え、参加くださいました地方内会員園の皆様方、大会開催にご尽力賜りました関係者の皆様方に心より感謝申し上げます。

また永年に渡り保育に従事された46名の方々が「令和3年度福岡県保育協会会長一般表彰」を受賞されました。功績者の皆様方への表彰式を執り行う事は出来ませんでしたが、本誌面をお借りし、その功績に深甚なる敬意と感謝を申し上げます。

さて、今回は大会テーマを「前へ進もう、子どもたちと一緒に」と題し、長引くコロナ禍の中、状況を考慮しZoomによるオンライン配信型の大会開催とさせて頂きました。そして本大会のメイン事業である記念講演につきましては、いま保育に必要な事とは何か、そしてコロナ禍においても、日進月歩の保育行政の動向をいち早く会員園の皆様方と共有出来ることを考え、全国保育推進連盟幹事長であり、おひさま保育園園長の吉岡伸太郎先生を招き「どうなる保育の未来～保育の質の向上と人口減少社会における施設の安定的運営に向けて～」と題し、講演を実施させて頂きました。

講演では、子どもたちが心身共に満たされ、豊かに生きていくための環境や経験を支える保育をどの様に計画を立て実践していくか、如何に小学校の学びに繋げていくかが保育士への大きな期待となっていることや、待機児童に対する対策が進行している中、令和元年の出生数「86万人ショック」やコロナ禍の影響などにより、入所希望者数に変化が生じていることに対し、今後の保育運営に対する中期的長期的な計画が必要であることなど今まさに必要な事項をお話しいただき、大変有意義な講演となりました。地方内会員園の皆様方には是非、今後の保育運営の参考にしていただきたいと思います。

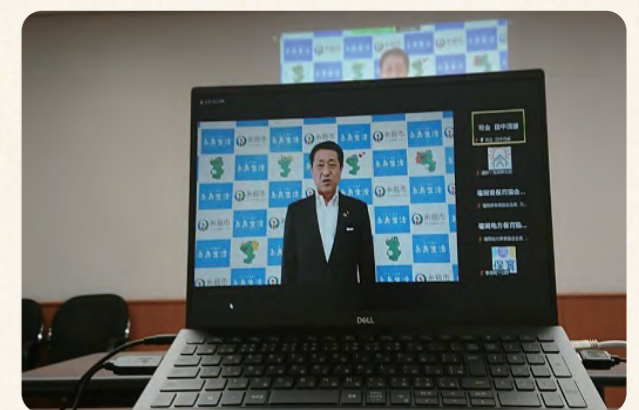
福岡地方保育事業研究大会は前年度、コロナ禍収束の目途のたたない状況下において開催を中止させて頂きました。そして本年度におきましても新型コロナウイルス感染症の猛威はおさまることは無く、オンライン配信というカタチで大会を開催させていただきました。わたくしごとですが、大会配信当日も数名の園児のPCR検査結果待ちの状況で、気がありませんでした。ちょうど大会配信が終了し片付けにはいった頃、園より全て陰性であった旨

の連絡が入りほっとしたことを思い出します。

コロナウィルス感染症は、簡単には全人類の生活の中から消え去ることは無いように思えますが、次年度こそは従来の日常を取り戻し、子どもたちの真の笑顔に満ち溢れた保育を行うことができる様、また保育事業研究大会にあたっては会員園の皆様方が一堂に会し、従来通りの大会が開催されることを心から願っております。

保育事業研究大会の開催意義は、地方内会員園の皆様方が一堂に会し、その空間の中で永年勤続者を皆で祝い皆で研修に励み、そして集う同志を直に感じ、参加者皆が保育に対する志気を高めることにあると思っております。年に一度の重要な事業が安心のもと再開され、次年度こそは皆様方と会場でお会いできることを願っております。

最後に、福岡県知事をはじめとされ、糸島市長、衆議院議員古賀あつし様、そして担当行政部の皆様と多くの来賓の方々には、この大会がこのように有意義に開催されたことに対し、厚くお礼申し上げます。





## 第58回京築ブロック保育研究大会報告

ほほえみ保育園 園長 神田宣俊

## 「つながり」の中で育む子ども ～時代とともに変わるもの変わらないもの～

令和3年11月6日、第58回京築ブロック保育研究大会をオンラインにて開催いたしました。

本来、令和2年11月、豊前市民会館にて開催を予定していましたが、世界で新型コロナウイルスが猛威を振るい、京築地方においても感染者が増え、保育所においてもクラスターが発生するなど、まさに日本国中がパンデミック状態であったため、やむなく中止とさせていただきました。

本年に入って、ワクチン接種も進み、世の中は昨年よりも安心感が増した感もあり、ブロック大会開催について、実行委員会の中で様々な意見が交わされました。集合型も提案されましたが、最終的にオンラインにて開催が決定いたしました。

大会テーマは

## 「つながり」の中で育む子ども

～時代とともに変わるもの変わらないもの～

新型コロナウイルスによる世界的なパンデミックの中、我が国でも緊急事態宣言が発令され、保育園にはウイズコロナの中で「保育環境」や「行事」のあり方等の見直しが求められています。「パンデミック・クラスター・リモートワーク」等、聞きなれない言葉が当たり前になり、確実に時代が変わってきています。しかしながら、保育の本質である、「子どもの最善の利益」自体は何も変わることもなく、その保育の営みを支える人と人との繋がり、心と心の繋がりであることをあらためて教えてくれました。私たち保育者もこれを教訓にして、さまざまな災害や困難を乗り越えていくべく、リスクマネジメントの取り組みを益々拡充していくことが求められます。明日も子どもたちは登園してきます。時代が変わっても、社会や制度が変わっても、私たちは変わることなく「子どもファースト」の精神で、「安心・安全の環境」を提供していかねばなりません。今回は、残念ながらオンラインによる開催になりましたが、京築保育協会の保育関係者が情報を共有しより良い保育環境を整えて「この保育園でよかった」という声がきこえてくるように願って本大会を開催いたしました。

本大会は、福岡県保育協会（クローバープラザ）と京築地方保育協会（京築事務所）の二か所に実行委員を配置しての、ZOOM配信とし、大会行事・式典進行をクローバープラザから、記念講演を京築事務所から行いました。

岡村斉大会会長の挨拶で始まり、万田康福岡県保育協会会長、服部誠太郎福岡県知事、後藤元秀豊前市長、武田良太衆議院議員とオンライン、並びに、ビデオにて来賓挨拶をいただきました。ありがとうございました。

続いて、令和2年度・令和3年度表彰者をスライドにて紹介をいたしました。

本来なら、豊前市市民会館より、福岡県保育協会会長表彰式を行う予定でしたが大会がオンラインとなりました。



たので、受賞者の皆様には、後日、表彰状を各施設に送付させていただきました。表彰者の皆様、本当におめでとうございました。

その後、京築保育協会事務所より、下記の通り記念講演を配信しました。

講師 社会福祉法人恵光園 児童発達支援センター  
恵光園こどもの家 有馬美弥子先生

講題 「集団保育と個別支援」

“発達支援は特性を知ること、思考の柔軟性の大切さ”では

「どんな保育士になったらよいか？」

「出会った一人一人を大事にする」

「目の前の子どもを受け入れる」

「学びやすい環境づくりをする」

「集団保育と個別支援の進め方」

等のお話をとても分かりやすく御講演いただきました。

さらに、

“ここが大事！保育士は…”では

保育士は、個々の感じる困難の要因を知ったうえで、それを和らげるための手立てを考えることが必要です。

そして、

“保育士ってすばらしい”では

・プロの保育士になろう

・日々の成長は、保育の要

・やっぱり愛が必要です

・情熱がなくなると保育の質が下がります

・こどもは、大好きな先生をいつまでも覚えています

・違いを「知る」ことから始めましょう

その子を変えることばかりを考えるのではなく、歩み寄りましょうと教えていただきました。有馬先生、ありがとうございました。

京築ブロックでは初めてのオンラインによる大会でした。前日のリハーサルまでは順調でしたが、当日、オンライン接続のトラブルが発生し、ご迷惑をおかけいたしました、お詫び申し上げます。各実行委員の先生や関係者の尽力により、無事復旧し、本大会を終了することができました。ご苦勞様でした。

京築ブロックの保育関係者の皆様、忙しい中最後まで本大会に参加いただきありがとうございました。

どんなに時代が変化しようとも、社会や制度が変わろうとも、常に子どもと「つながり」、「寄り添い」、「見守る」保育者の姿は「変わりません」。

来年度は、集合型を目指しますが、社会の変化に柔軟に対処できるようにオンライン設備等も含めて様々な研修・準備・整備をすることの重要性を感じました。今回の課題をしっかりと見直し、次回の大会に生かしたいと思っております。

最後に、京築ブロック大会オンライン配信にご協力をいただきました福岡県保育協会並びに事務局、業務委託業者の皆様へ感謝いたします。ありがとうございました。

## 全国私立保育連盟青年会議オンライン研修の報告

社会福祉法人おんがの会 おんがの保育園 園長 星岡剛

## 「保育施設における SNS の有効活用法」

2021年12月7日に、全国私立保育連盟青年会議オンライン研修が開催されました。本研修は「保育施設におけるSNSの有効活用法」と題し、施設運営に携わる3名による座談会形式で行われました。

パネリストとして、社会福祉法人山ゆり会(茨城県)法人本部長の松山圭一郎氏、社会福祉法人東京児童協会(東京都)事務局次長の菊地幹氏、星岡の3名が登場し、ディスカッションを行いました。

3名が所属する法人は全て社会福祉法人であるものの、運営施設数を見ると、松山氏の所属法人は5施設、菊地氏の所属法人は21施設、星岡の所属法人は1施設のみと、法人がある地域はもちろん、法人規模等が異なります。また、施設案内等を目的としたHP、リクルート情報等を目的としたHP、利用者に向けた連絡アプリ等を通じて、法人や施設の周知等を図っている点は共通していましたが、松山氏と菊地氏はそれらに加えて、instagram等の一般的なSNSサービスも積極的に利用し、法人や園の周知等を行っている点が星岡とは大きく異なっていました。

松山氏、菊地氏の法人規模に目が行きがちですが、地方都市においては星岡所属の法人と同じ規模の法人が多いのではないのでしょうか。また、HPや連絡アプリ等は利用しているが、一般的なSNSサービスは積極的に利用していない、もしくは必要と感じているがまだアクションを起こしていないという方も多いのではないかと思います。そこで、小規模の法人に所属し、一般的なSNSサービスを利用していない星岡が、大規模な法人に所属し、一般的なSNSサービスも積極的に利用している松山氏と菊地氏に対して、SNSの活用や展開にあたっての疑問等をぶつけて、それらに両氏が応える形で研修は進行していきました。

まず伺った事は、どのようなSNSサービスを利用しているかです。松山氏はfacebook、instagram、twitterを利用しており、特にfacebookを重点的に利用しているとの事でした。菊地氏は、以前は複数のSNSを利用していたものの、現在は人材獲得のターゲット層である20代の利用率が他のSNSサービスと比較して高いことを理由にinstagramのみ利用しており、園紹介をメインとしたものと施設への就職案内をメインとしたもの、2つのアカウントを作成しているとの事でした。

SNSで発信する内容について尋ねると、運動会等のイベントよりも、園での活動の中で起きる子ども

自身の気付きの様な、「ストーリー性」があるものを意識して発信しているとの事でした。イベントは他園も同様に取り組んでおり、同じような内容を発信しても興味を持たれにくい為、園独自の取り組みの方が見る側には伝わりやすいのではないかとの分析でした。

最後に、保育施設におけるSNSの有効性について聞くと、松山氏、菊地氏共にとても有効と感じているとの答えでした。両氏がSNS利用における最大の目的と定める事は、自法人や自園の事を知らない人に対して「まずは知ってもらおう」事であり、その達成にはSNSでの発信は非常に有効であるとの事でした。利用者が多いSNSサービスを、自分たちの存在を知ってもらうための最初の入り口として位置づけ、そこからHP等に閲覧者を繋げることを意識しているとの事で、instagramにHPのアドレスを載せただけでHPへのアクセス数が急増した例や、実際にinstagramやfacebookを見て園の存在を知り、そこから職員獲得に繋がった等の事例が紹介されました。このような事例からも、SNSの活用で得られるメリットは大きく、特に職員等の人材獲得については一定の結果が実際に出ていることから大いに有効であるとの意見でした。

現在展開している法人や園のHP、連絡アプリ等に加えて、広く一般的に利用されているSNSサービスを絡めることで、法人や施設の存在を多くの人に知ってもらうきっかけとなり、その機会が広がることで、人材確保や施設利用者の獲得に繋がる可能性が高くなるのではないのでしょうか。今後は法人や施設運営においても、現状で展開しているHP等に加えて、一般的なSNSの活用が重要な戦略になると今回の研修を通して強く感じました。





認定こども園に移行して

幼保連携型認定こども園 一貴山保育園 園長 田中 茂雄

～保育＝教育でもある昨今～

令和3年4月1日より糸島市にあります、一貴山保育園、福吉保育園、長糸保育園を同時に幼保連携型認定こども園へと移行し1年が過ぎようとしています。認定こども園に移行した事によって、これまで行ってきた保育に大きな変化があったのかというと、特に無い。というのが正直な感想です。

保育園の運営はこの20年の間、時代に応じて様々な事項が追加されてきました。

言葉や数字への理解力を深めるための0歳児からのあらゆる工夫、地域活動を含んだ行事、食育、小学校生活への段階的な移行を行っていく生活、等々。子育てを支援する施設であると同時に、子どもたちが健やかに成長していくための施設でもあるためにそれぞれが懸命に教育の分野も取り入れてきました。子どもの成長に合わせた年次計画・月案・週案・日案も主任保育士を筆頭に職員の皆様方が日々の業務を行いながら作成しているのですが、インターネットの普及に伴い、最新の情報や文章を確認しながら作成できるため、常に進化し続けています。現代の保育園においては、保育理念・保育方針・保育目標の中に教育という言葉は書かずとも内包されていることが当たり前となっています。

特に給食に関する事項は全く何も変わっていません。日々の栄養バランス、季節感、食育、離乳食、アレルギー対応、衛生管理、等々、例年の指導監査にて指導いただいた点を改善し続けてきた積み重ねがあり、これからも改善し続けていく姿勢を大切にしていきます。これは認定こども園になったから変化したわけではなく、保育園として当たり前に行っていたものだと考えています。また、情報公開や苦情相談体制、安全管理や児童虐待への体制、子育て支援のための機能など、現代の保育園では当然備えているべきものであり、認定こども園になるから作成したものというのはほとんどありませんでした。

内閣府が出している幼保連携型認定こども園のモデルの中に幼稚園部分に幼児教育、保育所部分には保育、と書いてありますが、幼児教育を行わずに子どもに漫然と日々を過ごさせているだけの保育園は



無いのではないのでしょうか？保育士資格を取得する際に幼児教育の勉強は必須となっており、キャリアアップをはじめとした研修も積極的に受ける環境が整ってきています。0歳児から成長に沿った教育をしているという自負は全ての保育園が持ち合わせているのではないかと思います。

令和2年度に移行書類を作成する際、全ての項目を再度見直し、言葉の表現等について福岡県庁様と密に打ち合わせを行わせていただきました。この時に主任保育士をはじめとした先生方に指導計画等を再訂してもらいましたが、基本的には保育園の時とほとんど変わらない計画となり、改めて保育＝教育である事を実感させられました。余談ではありますが、この機会にICTを導入し全ての書類をタブレットにて入力できるように整備する事もできました。タブレットにて入力した書類は別画面にて主任保育士と園長の承認をもらうため、紙印刷をしなくてよくなりました。パソコンではなくタブレット（携帯）にて入力できるため、予測変換機能を含めた使い勝手がよく先生方の作業軽減となりました。

既存の認可保育園が認定こども園に移行する事について検討する方向性は様々あるかと思えます。地域の保育ニーズや地理的な条件等によって必要性も大きく違うとは思いますが、保育園として培ってきた子どもの幸せへの思いは認定こども園になっても変わることはありません。逆に保育園を利用できない保護者の方々への利用が広がるという面もあり、認定こども園へ移行してよかったと考えております。これからも地域に根差した保育を行ってまいります。



公立  
発信

笑顔と健やかな未来を

～つながり、育ち合う保育をめざして～

築上町立築城保育所 所長 矢嶋 抄織



【はじめに】

築上町は福岡県の北東部に位置しています。南側の山林を源とする多くの河川が北部の平野を潤し、周防灘へと注いでいます。北側、行橋市との境には航空自衛隊築城基地があります。町内には町立保育園（所）2園、私立保育園7園、私立幼稚園1園がありますが、今回は築上町立築城保育所を紹介します。

住宅地の中にある本所は小学校が隣にあり、互いの活動を身近に感じながら連携をとることができます。また、広い園庭を有し、全園児と一緒に戸外で遊んだり、異年齢児とのふれあいを通して、思いやりの心を育てています。

【保育目標】

・しなやかな心と心身をもち、友だちと関わって遊ぶ  
・お互いの違いに気づき、認め合い差別をしない

【地域の方たちとの交流】

（英会話教室）

4歳児クラスから英会話教室を行っています。昨今の英語教育は小学校から始まっています。普段の生活では、なかなか耳にすることのできないネイティブな英語に触れて、子ども達には、どんどん世界を広げていって欲しいと思っています。外国人の講師を招いてのレッスンの中で、初めは自分と違う容姿や言葉に、もう一歩が踏み出せないような印象だった子ども達でした。それが今では、先生と英語で日常の挨拶をしたり、レッスン後にはおしゃべりをしたいと近寄って話しかける様子が見られます。

（手話教室）

5歳児になったら、手話教室も行っています。講師には地元の方と『築城手話の会』のボランティアの方が来てくださっています。最初は、耳が聞こえないということがどういうことか、子ども達は漠然としかわかりません。挨拶や家族・天気・数字を表す手話を教えてもらい次第にそれらをつかった手話ソングなどへ発展していきます。回を重ねるごとに、講師の先生と交わす手話で、思いが通じていく喜びを感じているようです。

（お茶・お花教室）

日本の文化に触れる経験をしてもらいたいという思いから、お茶・お花教室をしています。子ども達の今後の生活で、また経験する子もいれば、しない子もいると思います。保育所はみんなが公平に同じ

機会を与えられる場所です。「保育所の時にしたな…」という記憶が少しでも残ったり、興味をもってくれたりすればうれしいです。お花教室で活けたお花は敬老の日のプレゼントにしたり、勤労感謝の日には、日頃お世話になっている嘱託医の先生や地域の方に届けに行っています。

【その他の取り組み】

（一時預かり保育）

日常生活上の突発的な事情や社会参加のため、また育児疲れによる保護者の心理的・身体的負担を軽減するための支援として、一時預かり事業を行っています。保護者の方が「ちょっと病院に行きたい。」や「築上町で里帰り出産をしたいので、上の子を少しの間預けたい。」などの他、リフレッシュのためという理由での利用も多くなってきました。

自衛隊の基地がある町ですので、周りに知っている人がいないという環境で子育てをしている方も多くいると感じます。日頃から町の保健師さんと情報交換も行っており、育児に悩んでいる保護者や発達に不安があるお子さんも利用されています。利用し始めた頃は育児に疲れ、表情もあまりなかったお母さんが保育所というコミュニティで、保育士や他の子ども達と関わっていくうちに、悩みを相談することができるようになってきます。つながりを持つことで、保護者も子ども達も本来の元気を取り戻していく姿が見られます。今後も地域の子育て支援の一助となればと思います。

（病後児保育）

また町の子育て支援として、築城保育所に併設した病後児保育室で、病後児保育も行っています。昨年度、今年度はコロナ禍ということもあり利用される方はいみせでしたが、子育て中の保護者にとっては心強い施策だと思います。

【おわりに】

昨年度、今年度とコロナウィルスにより園での過ごし方、行事の進め方など様々な変化がありました。困難な状況の中でも、子ども達により良い保育を提供できるようにと、改めて保育の在り方の見直しをしてきました。「ピンチをチャンスに！」という思いで、これからの保育も職員で意見を出し合いながら、努力を重ねていきたいと思っています。



## 大人気イベント「絵本ミュージアム」での挑戦

NTTコミュニケーション科学基礎研究所 上席特別研究員 小林 哲生（こばやし てっせい）

福岡の夏といえば、「絵本ミュージアム」。2021年までの15年間で60万人以上の来場者数を記録した人気イベント（福岡アジア美術館での開催）で、毎年楽しみにされている方も多いのではないのでしょうか？ 絵本の世界を体感できる独特の空間、体験型のワークショップ、絵本作家のトークショーなど、子どものみならず、大人もワクワクが止まらない内容です。私たちはここ数年、この絵本ミュージアムで、AIを活用した絵本推薦の試みを行っており、その内容を以下でご紹介したいと思います。

### ■ロボットによる絵本推薦

2018年と2019年に行ったのは、ロボットの案内により絵本を推薦するシステム「ぴたりえタッチ」の展示でした。まず、ロボットがお子さんに「どんな絵本を読んでみたい？」と聞きます。タッチパネルディスプレイには6冊の絵本の表紙画像を表示し、それからタッチして1つ選んでもらいます。ある場合は、いろんな出版社から発行されている「赤ずきん」の表紙が6冊。またあるときは、「うらしまたろう」のいろんな表紙が6冊表示されます。これを数回繰り返して、選択された表紙の画像特徴量から、会場内にある絵本でお子さんの好みに合いそうな絵本をAIが推定して推薦するという仕組みになっています。

わかったことが2つあります。1つは、ロボットが推薦した絵本を会場で探して熱心に読んでくれるお子さんが多かった、ということです。絵本との出会いはいろんな形があるかと思いますが、こうしたロボットとのやりとりからも、絵本への興味を促進できる可能性がありそうということがわかりました。また絵の好みを推定する部分も案外うまくいったのかもしれませんが、なお、ぴたりえタッチは2年間で延べ2万人のお子さんに体験いただき、人気展示のひとつとなりました。

もう1つわかったことは、親とお子さんの間で絵の好みは案外食い違っている、ということです。九州女子大学の村上太郎先生とその学生さんとともに、ぴたりえタッチを体験してくれた親子のデータを対して分析したところ、お子さんは、鮮明ではっきりとしたアニメ調の絵を好み、大人はアートで幻想的なタッチの絵本をお子さんに読ませたいという傾向がありました。このあたりのギャップが、家庭での絵本の読み聞かせ行動にどう影響しているかは、発達心理学的視点からも興味があるところです。

### ■個別最適化した絵本

2021年は「パーソナルちいこえほん」を展示しました。これは、絵本に登場する主人公をお子さんにして表紙や本文に名前を入れるとともに、お子さんの興味と発達段階に合わせて1冊ずつ作成する個別最適化した絵本のことです。現在、NTT印刷より販売中です(<https://ehon.nttprint.com/>)。発話できる単語をウェブ上で報告いただくと、NTT研究所の幼児言語発達データベースを参照してAIがこれから発話できそうな単語を推定し、該当する絵を入れ込みます。何百億通り以上の絵の組み合わせがあり、真正銘のオリジナル絵本です。

今回は2020年の名付けランキングで上位にあるお名前を利用して絵本を100冊作成し、会場で展示しました。お子さんの名前を絵本を探して、絵本読みチャレンジしていただくなど、好評でした。「名入れ絵本は読みやすい」「思い出になる」「ますます絵本好きになりそう」といったご意見をもらいました。なお、この絵本は現在、福岡県内のこども園でも採用いただき、活用してもらっています。

ご存知の通り、絵本は言語や認知、社会情動的スキルなどの発達に欠かせないツールのひとつです。親子の絵本読み活動のさらなる支援をしていくために、私たちはAIを活用して個別最適化した絵本を作ったり推薦したりする試みを行ってきました。アナログな絵本とデジタルなAI。接点のなさそうな両者ではありますが、それぞれのよいところを持ち寄って、絵本好きなお子さんをもっともっと増やして、お子さんの発達をゆるやかに後押しできたらと思っています。



## 気になる子どもの幼児期のコミュニケーション発達と支援

九州女子大学 人間科学部 人間発達学科 准教授 村上 太郎

前号に引き続き機会をいただきましたので、今回は「気になる子どものコミュニケーション発達と支援」というテーマで書かせていただきます。私は大学院生の頃から発達臨床の現場で様々なお子さんや保護者と関わってきました。心理士として乳幼児健診、発達相談、発達検査、療育といった場での経験をふまえて保育園や幼稚園の巡回相談も長い間行わせていただいております。近年では保育士研修にもお声かけいただく機会が度々あります。そこで私が感じたことをまとめさせていただきます。

### ○誰かが「気になる」と言い始めたら、みんな気になってしまう

子どもと日々向き合っておられるのは担任の先生です。担任の先生ならではの子どもの気づきは非常に重要です。その一方で、誰かが「気になる」と言い始めたら不思議なもので周りの先生方も気になり始めてしまいます。このことは、みんなで子どもを見守る姿勢としては大切なことですが、それが行き過ぎると、対象児の気になる行動ばかりに目が向いてしまつて（心理学の用語で「確認バイアス」と言います）、報告や事例検討の際に「○○がまだできない」「△△なトラブルが多い」といったダメ出しばかり出てきてしまうことがあります。その子をよく見てくださっているのは分かりますが、「その子の良い所って何ですか？」と私が尋ねると、先生方は一同ハツとした表情になることも度々です。子どもの気になる行動や（保育者にとって）困った行動の観察と、その子どもの好きなこと、得意なことを見つける視点の両方を持っていただけるといいなあと思います。

### ○「気になる」をできるだけ具体的に

「気になる子ども」について検討を行う際、私が先生方に事前に整理していただくようお伝えするのは、「何（どの行動）が気になるのか」に加えて、頻度（1日に何回？週に何日？）、程度、そして先生の関わりに対する子どもの反応です。例えば、声かけで行動を修正できるか、周囲を見れば動けるか、目の前でやってみれば伝わるか、などです。漠然と「気になる」「関わり方が分からない」と困ってしまうより、できるだけ具体的な事柄に焦点化していくことで、短期目標として支援がしやすくなったり、保護者と

「今、園ではこの点に絞って取り組んでいます」という課題を共有しやすくなったりします。

### ○「捉え方の違い」として理解する

発達の凸凹が大きい子ども（一般的に発達障害と呼ばれます）と関わる上で重要な考え方の1つには、「分からない」のではなく「捉え方の違い」ということが挙げられます。捉え方の違いとして理解し、「自分が伝えた（言った）事を、この子は□□と受け取った（解釈した）んだな」と考えてみるのはいかがでしょうか。先生からの指示を受けて、どう動いて良いかまごついている子どもに、表現の仕方を変えて伝えようと「ああ、そういうことね！」と表情が明るくなって取り組むことができる場合もあります。私たちが日常的に用いている言葉は、自分の意志や欲求、要求、希望などを他者に伝える上で非常に重要な割合を占めるツールですが、意外と曖昧なものも多いものです。

### ○発達の凸凹が顕著な子どもを集団で保育する

「支援」という言葉は、個別での支援というイメージを持ちやすいと思います。確かに、生活年齢と発達年齢に大きな開きがある子どもに対しては、その子どもの発達年齢に合わせた関わり方や伝え方が必要なケースもあります。しかし、巡回相談などで挙げられるケースには、知的に顕著な遅れのない子どもや、グレーゾーンと呼ばれる子どもへの関わり方や伝え方に関する相談も多くなってきました。個別での対応が望ましい場合もありますが、集団での保育を行っていく上では、「この子に伝われば全員に伝わる」保育のあり方・可能性について検討していくことが大事な視点なのではないかと考えています。

最後になりますが、障害のあるなしにかかわらず、発達の観点から私が重要だと考えていることは、「園が安心して失敗できる場所であること」「人が好き」という気持ちで卒園してもらうこと」「同学年の子がその子との「適切な接し方」を身につけて就学していけること」の3点です。これらの視点を頭のどこかに留めていただくと、すべての子どもの生活や遊びを保障する保育が展開できるのかなと感じています。紙面の都合上、あまり多くのことが書けませんが、今後も子どもたちの育ちについて一緒に考えていきたいと思います。



## 災害と保育の力 - 『福岡DWAT』の発足

福岡県 DWAT 組成研修作業委員会 委員 岩淵善道



▲保育士チーム員による「キッズルーム」の運営(岩手県)

### 「異常」とは言えなくなった自然災害への備え

近年、災害対策について真剣に議論する機会のあった園も多いのではないのでしょうか。それもそのはず、ここ数年で多くの自然災害が起っており、それは福岡県でも例外ではありませんでした。テレビでは、これを異常気象と報道していましたが、もはやこれは正しい表現ではありません。なぜなら、これから数年の間にもう大きな災害なんて起こりっこない、と楽観的に考えられるとは思えないからです。もし今後、自園に災害が起こった時、また自分が被災した時のためにどんな対策を取らなければならないかを考え、そして備えていきましょう。

しかし他方で、大きな災害を前にして人がひとりでする力には限界があるのは事実です。「自助・共助・公助」という言葉がありますが、自分自身の力と、行政からの大掛かりな支援だけではまかないきれない隙間のニーズを埋めるのが共助の力です。自助が能動的、行政サービスが受動的だとすると、共助はその両方で、自分も他者を助け、自分が困ったときは他者からの助けを得る、つまり共に助け合うという考えですが、現在は都市化が進むことで地域の力が失われつつあると言われる中で、現在最も真剣に協議されなければならないのがこの共助の部分と言えるでしょう。

### DWATとは

この考え方のもとに、福岡県で DWAT\*1 という体制が作られ、保育では今年 10 月から保育関係者のメンバーを募ることとなりました。DWAT の正式名称は「災害派遣福祉チーム」で、乳幼児を始め、高齢者、障がい者、その他支援が必要な人から生じるさまざまな福祉ニーズに特化した支援チームです。したがって、いわゆる一般的な災害ボランティアとは違い、保育分野では保育の専門性を生かして避難所等への応急的な支援を行うこととなります。DWAT は、3.11 に伴う福祉支援の中で岩手県で初めて結成されて以来、今や 35 都道府県に広がっています\*2。ここまで急ピッチに広がった背景には、避難生活支援と復興が不十分なことから生じる二次的な死、いわく

る「関連死」の問題が切実なことにあります。2019 年に熊本県が発表したデータによると、熊本地震での死亡者 270 名のうち直接の災害関連での死亡者が 50 名であるのに対し、災害による負傷の悪化や避難生活等の身体的負担による疾病での関連死に該当する犠牲者が 220 名にも上ると報告されています\*3。ここには、災害が起こると福祉ニーズの増加とその担い手の減少が起こるといった現象が関係しています。災害が起こると、普段は自力で生活が成立している人にも福祉的支援が必要となる場合がありますが、他方で福祉の担い手である地域の関係者自身もまた被災しているため、普段より手が足りなくなるのです。そこで、災害後に起こる福祉ニーズの不均衡が解消されるまでの間、支援をするのが DWAT の役割となります。

### あなたの保育で災害支援に貢献してみませんか？

災害が起こり被災地から県に支援要請が寄せられると、DWAT 事務局を通じて会員に依頼があります。支援の期間は 1 ヶ月を超える場合がありますが、会員は数日現地で支援し、別のチームにバトンを渡す仕組みです。また、登録したからといって必ず派遣に向かう義務を負うわけではありません。まずは、DWAT の役割を学ぶことで、自園の防災力の向上・強化につなげることを福岡県では目標としています。冒頭で見たように、近年では災害が身近になってきています。これと同時に、被災した子どもたちへの支援のノウハウも少しずつ DWAT に集まってきています。関心のある方はぜひ応募をご検討ください。

\*1 Disaster Welfare Assistance Team の頭文字を取って DWAT と名付けられました。

\*2 福岡県福祉労働部福祉総務課 (2021) 災害派遣福祉チーム員組成研修、災害派遣福祉チームについての基本事項 ,p.24

\*3 園崎秀治 (2021) 避難所における福祉ニーズと災害派遣福祉チームに求められる役割について、DWAT チーム員フォローアップ研修 ,p.25

## 持続可能な社会の担い手を育む ～ホールスクールアプローチの実践～

2020年9月開園 虹の森保育園 園長 城後 哲志



### はじめに

私達は科学や技術の進歩による恩恵を受け、豊かで便利な生活を送ることができています。しかし、その一方で子ども達が迎えるこれからの世界は、あらゆる面で持続が難しい社会になっていくことが予測され、国連で採択されたSDGsを達成目標とした課題解決に世界中が取り組んでいます。

我が国でも中央教育審議会の答申で「持続可能な教育ESDは次期学習指導要領改訂の全体において基盤となる理念である。」と打ち出し、学習指導要領の前文には「持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められる。」と記されています。このことについて東京大学の及川幸彦教授がユネスコスクール実践交流会in大牟田で「新学習指導要領の柱はESDということです。」と語られたことは、今も私の記憶に鮮明に残っています。

### 子どもと環境

子ども達を取りまく環境には様々なものがあり、その一つには文化や風土といった環境があります。食文化で言えば、給食でどの食材や調味料を使うのかという選択肢があります。野菜であれば慣行栽培であるか無農薬栽培であるか。健康面からすると農薬は給食を食べる子ども達だけでなく、作り手にも影響を与え、更には農地に雨が降ることで海を汚染します。そのように食文化ひとつをとっても子ども達の将来の持続性には大きな影響となります。

そして、二つ目は保育者や親などの身近な大人も、子どもにとっては環境と言えます。子どもは大人を模倣して育ちます。相手の気持ちを考え、動植物の命を尊び、物を大切に扱う。私たち大人がホリスティックな世界観を持つ生きた持続可能性の手本であったならば、子どもにとってもそれが当たり前の価値観となるのではないのでしょうか。

三つ目には教育観や保育理念というイデオロギー的な環境があります。どのような保育であってもそこには必ず持続可能性が内包されています。例えば、私たちの保育の一つにスウェーデン発祥の森のムッレ教育があります。この教育は0歳児から始めることができるプログラムで、初めは自然に馴れ親しむことから始まり、やがては自然に対する畏敬の念、自分達がこの自然の循環の一部であること、そして何より大切なことは自然に生きる動植物は自分達の仲

間なのだという「自然感覚」が養われていきます。そのような体験をすると物心がつき始めた頃の園児であっても自然の中のゴミを見て「虫さんがお腹痛い痛いつてなるのね。」と言って拾い、ゴミが自然界にどのような影響を与えるのかを知っています。このように子どもが文化や風土という空気に包まれ、身近な大人が大地の様に子どもを育み、教育という太陽の陽ざしに子どもが暖められたならば、「持続可能性」を言葉で諭さなくても、子ども達の三つ子の魂に持続可能な生き方は届くはずですよ。

私はユネスコスクールの取り組みを通じて、乳幼児期のESDは子どもに関わる大人自身の意識と行動の変容が大切だと感じます。

### 私たちが大切にしていること

そのように子ども達には環境が大切だと考え、「食育」「遊び」「大人(ひと)とのかかわり」を通じた保育をしています。

食育では「心と身体そして社会にとって良いもの」をテーマとしています。子ども達は有機玄米と野菜中心の和食を食することで自然と味覚が整えられ、潜在的に身体に良い食材を選べるようになります。更にそれに加えて自分が食材を選択する時、それが社会にどのような影響を与えるのかを考えていけるようになって欲しいと願っています。

また、子どもが遊びの主体になれるように保育士は環境作りが大切だと考えています。環境だけを作って手放しということではありません。まだ遊びが上手ではない子どもには保育士が遊び方を見せたり、自分で遊べるようになった子どもにはその遊びがもっと展開していくようにさりげなく手を差し伸べたり、ということも必要です。そのように子どもが遊び込めるように援助していけば、遊びそのものがアクティブラーニングとなり、小学校にあがった時の「学びに向かう力(非認知的能力)」を養っていけるからです。

そして、その土台となるのが大人との関わりです。保育士が子どもの心の避難基地となり、日中一緒に過ごせない親に代わってアタッチメントを繰り返すことが大切です。そうして基本的信頼感と呼ばれる心の根っこが育まれるからこそ「やってみよう」、「頑張ってみよう」という前向きな心(自己肯定感)となり、やがて自立への橋渡しとなるのです。

お問い合わせはこちらまで 公益社団法人福岡県保育協会事務局 【TEL】092-582-7955 【E-mail】office@fphk.jp

被災地の子どものケアは、これまで見過ごされてきた新しい課題です。他方で、災害において押し込められた子どもたちの声を可視化することにかけては、日頃より子どもたちに共感・代弁している私たちの得意分野と言えるでしょう。今後このような子どもたちへの災害支援を福岡県から全国に発信していきたいと考えています。



ご登録はお済みですか？

福岡県保育士・保育所支援センター



## 保育士有資格保有者登録サイト

処遇改善等加算Ⅱの**研修修了要件**が令和5年度から適用開始されます。

### 加算認定の事務負担が増大

- ・ 全員分を毎年管理するのは大変・・・
- ・ 対象職員全員の受講証明が必要・・・

ほいく福岡のマイページで  
「保育士有資格者登録」  
をすると、

キャリアアップ研修の受講歴を  
個人で管理できます！

取得年度	修了分野名	修了証番号	修了証発行日	研修実施機関名
2019	マネジメント	402001700001	2020/3/25	福岡県（委託先：（公財）総合健康推進財団）
2019	保健衛生・安全対策	402001500001	2020/3/25	福岡県（委託先：（公財）総合健康推進財団）

- ✔ 県内保育士一人一人のキャリアアップ研修の受講歴\*が表示されます！
- ✔ 簡単に印刷できて、加算の申請書類にそのまま添付するだけ！

\*保育士資格をお持ちの方が対象です。



登録はこちらから

# column

志免さくらこども園 園長 福田 憲彌

## 年度末をむかえて

年度末が近づき、卒園式が近づいてくると、嬉しさと、寂しさが交わった複雑な思いが湧いてくるのは、私だけでしょうか。

弊園も、平成 26 年に開園し、8 回目の卒園式をまじかに控えています。この間、いろいろな方々にご協力を賜りながらやってこれたことに、この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。

さて、年度末を迎え、これからのことを少し考えてみたいと思います。

時代は移り変わりを続けており、人工知能の台頭により〇〇年後になくなるといわれている仕事があります。

また、現在再び流行しているコロナウイルスにより、今まで当たり前と考えられていたことが、当たり前ではなくなり、例えば、コロナ禍前には、当たり前に行き仕事をして、家に帰ってきていたのが、現在は、テレワークが浸透し、自宅に居ながらして仕事が出来てしまう業界もあります。IT 大手のヤフーは、通勤手段の制限を緩和し、居住地を全国に拡大できるなど、社員一人ひとりのニーズに合わせて働く場所や環境を選択できるようにするそうです。

また、電子マネー（電子決済）が浸透し、コンビニやスーパーでもスマホを片手に「チャリン」決済完了です。そして銀行では、両替を行うのに手数料を徴収するようになってきました。電子マネーの普及が目的のようです。

そして、昨年末、スタートトゥデイ代表取締役前澤友作氏が民間人初の宇宙旅行をして地球に無事帰還してきました。今度は、月に行かれるそうです。もしかすると、子どもたちが大人になるころには、海外旅行のように気軽に宇宙旅行に行けるような時代になっているのかもしれないですね。

話が飛躍したので、保育の話に戻しましょう。

以前は、手書きで書いていた書類やノートも ICT 導入により、パソコンを使って作成する園も増えてきたのではないのでしょうか。他にも、登降園管理や、メール一斉送信など、使う前は抵抗がありましたが、現在ではなくてはならないツールとなっています。

またオンラインが浸透し、研修や職員採用面接を行った

り、情報発信として園の公式 YouTube やインスタグラムなどを公開されている園もあり、日常的にデジタルに触れる頻度が増えてきたと思います。学校では、GIGA スクール構想のもと、1 人 1 台ずつのタブレットが支給され、デジタル授業が行われるようになっています。

このような中、私たちが接している子どもたちが大人になった時、どんな時代になっているのでしょうか？

考えてみますとこれらのツールは、人の生活が便利になるように開発されたもので、どんな時代になったとしても、自分のやりたいことを自分でみつけ出し、頑張れることは大切なことだと思います。そのためには幼児期におけるあそびを通した様々な成功体験や失敗体験が欠かせないと思います。まさしく我々がやっている保育活動そのものが大切だと考えます。

コロナ禍の中、地域の子育て拠点としての役割を果たすべく頑張っておられる皆様に敬意を表するとともに、今後も子どもたちのため、保護者のため、地域のために互いに切磋琢磨しながら、頑張っていきたいと思います！！



### 【編集後記】

なかなかコロナの収束が見えない中、世の中は次のフェーズに移行した感があります。保育の場も同様で、徐々にデジタル化が進みつつありますね。

今年度の広報部会もすべてオンラインでの開催となりました。対面で部会の皆様にお会いできない寂しさはありますが、オンラインで繋がる利点もあり今後の保育のハイブリッド化のヒントが見えた気がしました。

巷では変化の時代と言われていますが、『みつけた！』もその波に乗って変化を恐れずに、会員の皆様にとって有意義な情報をお届けできるよう部会の皆様と共に様々な協議を重ねていければと思います。・・・と、さも次年度も広報部会メンバーである体での文章ですが、今号で現在の広報部会のメンバーは任期満了なんですよ。この思いをぜひ次回の広報部会のみなさまにも引き継いでいただきたいと願いを込めて。

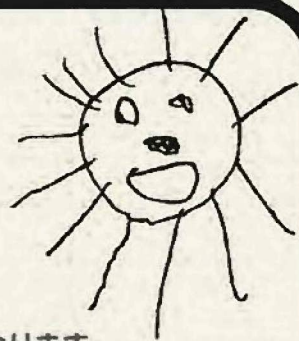
猿渡部会長をはじめ、事務局の皆様、部会の皆様、大変お世話になりました。

広報部会 植崎

発行日 令和4年2月25日  
 発行者 万田 康  
 編集者 猿渡 保生  
 発行元 公益社団法人  
 福岡県保育協会  
 春日市原町 3-1-7  
 TEL 092-582-7955  
 FAX 092-582-7956



# 園および園児をさまざまな リスクからサポートします



園経営には、さまざまなリスクが伴います。

公益社団法人全国私立保育連盟指定代理店である(有)ゼンポでは、

園経営はもちろんのこと、園児をとりまくリスクに関する各種保険を取り扱っております。

## ほいくのほけん・こどもえんのほけん

「園賠償責任保険」

「園児団体傷害保険（学校契約団体傷害保険特約付帯傷害保険）」

「新型コロナウイルス等対応費用補償特約（2021年4月以降）」など、

園経営における従来のリスクに加えて 新型コロナウイルス感染症にも  
対応する保険を ご用意しております。

## やくいんのほけん

社会福祉法人の役員の業務遂行に関する賠償リスクと

レピュテーション（風評被害）リスクに関する保険となります。



上記以外にも、「学童保育」などの、保険を取り扱っております。ご照会は、下記連絡先にどうぞ。

このご案内は施設賠償責任保険・生産物賠償責任保険・学校契約団体傷害保険特約付帯傷害保険・会社役員賠償責任保険・レピュテーション費用保険（レピュテーション費用特約条項付費用・利益保険）の概要についてご紹介したものです。保険の内容は本保険制度のパフレットをご覧ください。詳細は契約者である公益社団法人全国私立保育連盟にお渡しする保険約款によりますが、ご不明点がありましたら、取扱代理店または保険会社までお問い合わせください。また、ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。

（引受保険会社）東京海上日動火災保険株式会社 担当課：公務第二部 文教公務室 TEL:03-3515-4134

連絡先



公益社団法人全国私立保育連盟指定 / 東京海上日動火災保険株式会社代理店

有限会社ゼンポ

TEL **03-3865-3881**  
FAX 03-3865-2806

〒111-0051 東京都台東区蔵前4-11-10 全国保育会館4階

子どもの育ちが見えれば、明日の保育がもっと豊かに！

全国私立保育連盟推奨（総代理店）

導入費用  
無料

# きっずノート

「きっずノート」は、文字だけでは  
伝えきれない園での豊かな活動、  
子どもたちが自ら学び・育つ姿を  
「見える化」するアプリです。

保育者の  
業務  
省力化

子どもの  
学び・育ちの  
見える化

緊急時の  
連絡手段

正式利用お申込みの全施設

最大 9 ヶ月

利用料無料！

契約更新後も料金そのまま！

年間一括利用料6万円

利用しやすい価格に  
なりました！

ひと月  
あたり **5,000** 円  
(税別)

※ただし、事業者利用規約の定めにより、将来において利用料金が変更になる可能性がございます。

詳しくはお問い合わせください。

<担当者:菅沼、佐藤>